

科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
書道Ⅱ	2	A B C D	2	必修修	70 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	
教科書	書道Ⅱ(東京書籍)
使用教材等	半紙・画仙紙・料紙・色紙・表具用文具

科目の目標

学習目標	【知識及び技能】 書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めると共に、書の伝統に基づき効果的に表現するための技能を身に着付けられるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 書の伝統と文化の意味や価値を考え、書のよさや美しさを味わい感受し、創造的に意図に基づいて構想する。個性豊かに表現を工夫し、書の美を深く捉えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり書を愛好する心情を育み、主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、感性を高め書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
------	---

年間授業計画

学期	単元・単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準
1	・仮名の書(連綿線) 【知】基本的な用筆・運筆、線質を生かした表現 【思】用筆・運筆、字形、全体構成 【態】 仮名の書の線美を感受し、主体的に仮名の書の幅広い表現の学習の取り組む。 ・漢字の書の創作 【知】漢字の書を構成するさまざまな要素について理解する。 漢字の古典に基づく効果的な表現の技能、変化や調和等による全体構成の技能を身につける。 【思】表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫する。 【態】主体的に漢字の書の創造的な表現・鑑賞の学習活動に取り組む	・効果的に表現技法を広げるために仮名の伸びやかな用筆・運筆法を習得し、美しい連綿線を描く技法を高める(仮名の柔らかな丸みのある線を軽やかに描く) ・漢字の三書体の変遷とその歴史的背景を理解し、個性豊かな作品創りに挑戦する。(多種多様な字形や線質を取り入れ表現力を発揮し作品の全体構成を練り、試作を重ね表現を工夫し作品を仕上げる。)	・仮名の書(連綿線) 【知】仮名の字形や線質、連綿」の法則を理解しそれを表現するための用筆・運筆の技法を理解している。 【思】平仮名の字形や線質の多様性を理解し表現している。 【態】仮名に関心を持ち、技法を習得し、美しさを探求しようとしている。 ・漢字の書の創作 【知】漢字の書を構成するさまざまな要素について理解し、効果的な表現技法と、変化や調和による全体構成の技能を身につけている。 三書体の特徴を捉え、書の美の効果と意義について理解している。 【思】全体の構成、感興や意図に応じた個性的な・創造的な表現について構想し工夫している。 【態】感性を高め個性豊かな表現力を養い、作品試作を重ね創造力を養う学習活動に取り組もうとしている。
2	漢字仮名交じりの書とスクラッチ皿 【知】意図に応じた効果的な表現の技能、漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身に付ける。 【思】感興や意図に応じた個性的な・創造的な表現について構想し工夫する。 【態】主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な表現・鑑賞の学習活動に取り組む。	・漢字仮名交じり書の特徴を理解する。 漢字仮名交じり書の作例を鑑賞し、漢字と仮名の調和や自由な紙面構成などの特徴を確認する。 ・スクラッチ皿にすぎない言葉を作成する。 表現のイメージを明確に持ち、これまでの学習で習得した知識・技能を生かして、作品の構想を練る。	【知】意図に応じた効果的な表現の技法、漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身につけている。 【思】感興や意図に応じた個性的な・創造的な表現について構想し工夫している。 【態】主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な表現・鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
3	・篆書・隸書の学習 【知】篆書・隸書の古典の特徴と用筆・運筆について理解する。 【思】表現形式に応じた全体構成を構想し工夫する。 【態】主体的に表現と鑑賞の学習活動に取り組む。	篆書・隸書の成立過程を確認理解する。 特有の左右相称字形の構えや、水平・垂直を基本とする点画構成、均一な線の太さ、蔵鋒・中鋒などの用筆を理解し習得する。	【知】篆書・隸書の特徴と用筆・運筆について理解している。 【思】古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 【態】主体的に漢字の書の創造的な表現・鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。